

令和8年度みえ子ども・子育て応援総合補助金 交付決定事業一覧

市町名	申請枠	事業名	事業内容	交付決定額（円）
01 津市	自由枠	加配保育士等賃金補助事業	国基準を超える保育士配置や障がい児保育への追加配置を支援し、保育環境の充実を図る事業。賃金等の実支出額と基準額の少ない方を助成する。一部経費には県の低年齢児保育充実事業を活用し、該当分は本事業の対象外とする。	9,000,000
01 津市	両立支援枠	公立保育施設における保育補助員事業	保育士の負担軽減を図るため、公立保育所に保育補助員を新たに配置する事業。保育室や遊戯室の片づけ、消毒、寝具準備、さらに自園炊飯開始に伴う配膳など保育周辺業務を担い、保育の質と働きやすい環境を確保する。	9,000,000
02 四日市市	自由枠	多様なこどもの居場所づくり実証事業（高校生年代のための自由な居場所づくり）	既存施設を活用し、NPO等が創意工夫して行う居場所づくりの効果的な支援方法を検証し、多様な居場所づくりの展開を図る事業。高校生年代のニーズを踏まえた自由な居場所づくりを市内商業施設で実施し、満足度調査等の結果や反映内容を公表する。	1,398,000
02 四日市市	自由枠	児童福祉施設整備事業（塩浜児童館）	行政改革プランに基づき、塩浜児童館を三重北勢健康増進センターへ移転する。部屋数、延床面積や駐車場の拡大による機能の拡充に併せて、必要な備品等を購入し、環境整備を実施する事業。	3,050,000
02 四日市市	両立支援枠	送迎支援事業補助金（四日市市独自加算）	児童数減少下でも学童保育の利用が増え、一部地域では受入れが逼迫する一方、利用児童の確保が課題となる施設もある。本事業は、送迎支援事業の補助上限を拡大し、タクシー運賃や協力者謝礼、燃料費を支援することで、受入れ余力のある学童への送迎を促し、地域間の偏在解消と利用環境の改善を図る。	1,518,000
03 伊勢市	自由枠	子ども読書推進事業	学校司書の配置を拡充し、公共図書館と連携しながら、学校司書が積極的に授業支援や資料・情報の提供、学校図書館の環境改善に取り組むことで、学校図書館の機能を向上させ、子どもたちの読書活動を推進する事業。	9,000,000
03 伊勢市	両立支援枠	民間保育施設アレルギー等対応特別給食提供事業	食物アレルギー等に対応した特別給食を提供する私立保育所・認定こども園等に対し、人件費と食材費を補助し、安全な給食を実施する体制を整える事業。	9,000,000
04 松阪市	自由枠	不妊・不育症治療費 自己負担額に対する費用助成、相談支援体制の構築	不妊治療・不育症治療の自己負担額に対し、年間1回上限5万円を助成する事業。助成申請者へ「不妊症・不育症に関する相談専用コード」を配布し、保健師等による相談支援を行う。	2,526,000
04 松阪市	両立支援枠	紙エプロン・手口ふきの定額利用サービス	公立保育園・こども園で0・1歳児を対象に紙エプロンと手口ふきの定額利用サービスを導入し、保護者と保育士の負担軽減を図る事業。市が費用の半額（上限500円）を負担し、公立・私立で同率の補助を実施する。令和8年度は私立園の導入園が9園から12園へ拡大し、事業を強化する。	2,190,000
04 松阪市	両立支援枠	育児負担軽減支援事業費	育児負担軽減支援事業として、0・1歳家庭への一時預かり支援を令和6年度に開始し、令和7年度は施設の運営負担を踏まえチケット制へ改善した。保護者からの要望や2歳児の利用ニーズが高いことから、令和8年度は対象を2歳まで拡大し、保育園通園準備にもつながる支援として実施する。	1,537,000
05 桑名市	自由枠	選べる桑名子育てリフレッシュ事業	子どもの保護者に心身をリフレッシュしてもらうため、一時預かり保育で子どもを預け、市内の民間事業者が提供するサービス（温泉、ランチ、マッサージ、家事補助等）を利用できるデジタルチケットを給付する事業。	9,000,000

市町名	申請枠	事業名	事業内容	交付決定額（円）
05 桑名市	両立支援枠	手厚い保育士等配置応援事業費	市内私立保育施設で国基準を超えた手厚い保育士配置や保育支援者の配置を支援し、保育士の負担軽減と質の高い保育環境の確保を図る事業。	9,000,000
06 鈴鹿市	両立支援枠	※審議検討中の事業であり、現時点で公表できないため空欄としています。		8,064,000
06 鈴鹿市	両立支援枠	※審議検討中の事業であり、現時点で公表できないため空欄としています。		336,000
06 鈴鹿市	両立支援枠	※審議検討中の事業であり、現時点で公表できないため空欄としています。		600,000
07 名張市	自由枠	「なんとかなるなる。なばりです。」で進める産み育てるにやさしいまちづくり	特別な支援が必要な子どもの指導計画作成に精度の高い検査を導入し、専門家との連携で支援を充実させるとともに、子ども若者の意見を踏まえた居場所整備や、予防接種の推進に取り組む。また、安全な遊び場の利用補助やコミュニティバスの無料化で子育て負担の軽減を図る事業。	9,000,000
08 尾鷲市	自由枠	自然体験推進事業	海・山・川など尾鷲の自然を生かした体験を通じ、地域への愛着や協調性、自尊感情を育む独自カリキュラム「尾鷲育」を構築する事業。小学校3校で年間計16回の自然体験を行い、魚の捌き体験や食育とも連携して、命の循環と自然の恵みを学ぶ取組を進める。	938,000
08 尾鷲市	自由枠	発達の気になる子どもの包括支援事業	発達段階や特性に応じ、親子教室での集団・個別療育、保育士研修の充実、保育園への看護師配置、通所支援の利用料助成、加配が必要と判定された児童への支援を包括的に進める事業。早期支援の強化と専門性向上により、こども一人ひとりに応じた切れ目ない支援体制を整える。	7,750,000
08 尾鷲市	自由枠	子育て世帯応援事業（旧：多子世帯支援事業）	市内で子どもを養育している保護者に対し、育児用品購入やファミリーサポートセンター事業を活用した育児支援利用券を支給する事業。経済的な負担軽減を図りながら、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進める。	3,034,000
08 尾鷲市	自由枠	放課後児童クラブ配食事業	長期休業中に放課後児童クラブで過ごす児童に対し、平日に加えて土曜日も配食業者により安心・安全に昼食を提供される仕組みを整える事業。登録業者による弁当配達を実施し、1食600円のうち半額の300円を市が補助することで、保護者の負担軽減と安定した昼食提供を図る。	278,000
08 尾鷲市	両立支援枠	※審議検討中の事業であり、現時点で公表できないため空欄としています。		12,000,000
09 亀山市	自由枠	おたふくかぜ任意予防接種費用助成事業	おたふくかぜワクチンは任意接種であるが重要性が高く、1歳～就学前の子どもを対象に1回3,000円を助成する。感染予防と保護者の負担軽減を目的とした取組であり、接種率向上と流行防止のため、助成回数を2回へ拡大する。	1,050,000

市町名	申請枠	事業名	事業内容	交付決定額（円）
09 亀山市	自由枠	亀山市ひとり親家庭等児童高等学校等通学費援護金支給事業	通学費援護金を支給することにより、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減及びひとり親家庭等の児童の向学心の高揚を図り、福祉の増進を図る。令和8年度からは児童扶養手当の「認定」を受ける世帯を対象とし、これまで対象外であった全部停止世帯も支援の対象とする。	1,566,000
09 亀山市	自由枠	CLM方式による保育力向上研修事業	CLM（チェックリストイン三重）を活用し、気になる子の行動を適切に把握し個別の指導計画を作成できる保育士を育成する事業。集合研修で基礎を学び、巡回研修で保育現場を指導し、CLMと個別計画を推進できる核となる人材を養成する。令和8年度は園内療育を実施し、支援の継続を図る。	506,000
09 亀山市	自由枠	CLM方式によるペアレントトレーニング事業	CLMを活用し、家庭内で実現可能な支援計画の作成、実践、評価等ができる保護者を育成・支援するとともに、保護者を支援できる職員を育成することにより、育児で悩む家庭を支援する事業。令和8年度は、効果的な支援方法や目指す姿を示す評価表を作成し、家庭と日常生活空間である園で同じ支援が継続して行えるよう保護者と保育所等で共有する。	181,000
09 亀山市	両立支援枠	公立保育所等おむつ処分事業	公立保育所で使用済み紙おむつを、週2回の事業系ごみ収集と同時に回収し、運搬費の削減と効率化を図る事業。従来の回収袋に加え、ゴム手袋や消臭シート、消毒用アルコールなどを支給し、作業環境を改善する。	375,000
10 鳥羽市	自由枠	※審議検討中の事業であり、現時点で公表できないため空欄としています。		4,974,000
10 鳥羽市	自由枠	※審議検討中の事業であり、現時点で公表できないため空欄としています。		2,627,000
10 鳥羽市	自由枠	子ども安全・安心事業	幼稚園から中学校までの防災用ヘルメットを更新し、災害発生時に児童生徒が安全に避難できる体制を整える事業。併せて教職員・保護者への防災啓発や、避難訓練における実践的な指導を強化し、学校と家庭が連携して防災意識を高める取組を進める。	2,678,000
10 鳥羽市	両立支援枠	※審議検討中の事業であり、現時点で公表できないため空欄としています。		3,926,000
11 熊野市	自由枠	3歳未満児おむつ用品支給事業②	育児相談などの機会を作る手段の一つとして、子育て支援センターにおいて3歳児未満の未入園児に対しておむつ用品等を支給する事業。来所が難しい世帯に対しては、センター職員が個別訪問によるおむつ支給および育児相談を行い、支援を希望するケースは保健師へ情報共有する。	3,133,000
11 熊野市	自由枠	学校インクルーシブ推進事業	主要動線に階段が多い公立小学校で、車椅子利用児童や歩行困難児が移動に大きな負担を抱えている現状を踏まえ、熊野市立井戸小学校の主要階段に階段昇降機を設置する事業。保護者の付き添い負担を軽減し、児童が自立的に通学・学習できる環境を整え、質の高い教育機会につなげる。	2,913,000
11 熊野市	自由枠	木育環境充実事業	山崎運動公園ちびっこ木造ふれあい施設に遮光カーテンと冷房設備を設置し、周辺の緑化整備を進めることで、夏季の熱中症リスクを下げ、安心して遊べる環境を整える。併せて、指摘のある清掃管理を委託により改善し、子どもが安全に木材や樹木にふれられる施設環境を充実させる。	5,954,000

市町名	申請枠	事業名	事業内容	交付決定額（円）
12 いなべ市	自由枠	産後ママサポート事業	保健センター等において保育士が乳児を預かり、2回まで無料で利用できる仕組みにより、産後3カ月までの母親の身体的・精神的負担の軽減につなげる事業。令和8年度は、きょうだい児を含む預かりの拡充や個別訪問による育児相談、緊急時の2組受入体制を整え、より細やかな産後支援を行う。	3,429,000
12 いなべ市	自由枠	発達支援医療連携事業	発達に課題がある子どもへの診断及び支援について、市内の基幹病院や近隣自治体と連携して体制づくりに取り組む事業。具体的には以下のとおり。 （1）支援の検討や情報共有等を行う医療連携会議・関連会議に加え、小児科医も参加する医療連携意見交換会の開催。 （2）医療的アドバイス等を行うため、保育園・小中学校への巡回訪問の実施。	850,000
12 いなべ市	自由枠	季節性小児インフルエンザ予防接種事業	未就学児を対象に、任意接種であるインフルエンザワクチンの接種費用を一部助成する事業。1回1,000円を補助し、13歳未満に推奨される2回接種に合わせ、未就学児1人につき年度内2回まで助成を行う。	995,000
12 いなべ市	自由枠	自然保育推進事業	自然を身近に感じられる環境づくりのため、保護者と協働したフィールド整備や未就学児向けの園庭改修を支援する事業。併せて、職員に対するリスクマネジメント研修や有毒生物に関する研修費などを対象とし、1園あたり30万円程度を補助する。補助内容の選定には集落支援員の専門性を活用する。	1,950,000
13 志摩市	自由枠	修学旅行費支援事業	子育て世帯の教育費負担を軽減するため、修学旅行費の一部を補助する事業。小規模校では人数割りにより費用が高額となる課題を踏まえ、令和8年度から一部中学校で日程を統一し連合実施とすることで負担を縮減する。 【1名あたりの補助額】小学校：15,000円 中学校：35,000円	8,484,000
13 志摩市	自由枠	小学生泳力向上事業	夏季休業中に市内2小学校の学校プールを開放し、子どもたちに自由水泳・着衣水泳の機会を提供する事業。令和8年度は、消防職員による救命講習を行い、安全意識を高める。	3,516,000
13 志摩市	両立支援枠	子どもの居場所づくり事業	校内・校外教育支援センターを整備し、個別支援や相談に応じる環境を確保する事業。令和8年度は阿児町に分室を開設しオンライン支援を導入するとともに、関係機関連携の強化や支援計画の質向上を図り、地域全体で継続的な伴走支援体制を構築する。	9,514,000
14 伊賀市	自由枠	こどもの権利条例推進事業	こどもの権利条例の令和8年12月制定を目指し、こどもの意見を聞くワークショップや子育て関係団体への意見聴取、専門家による協議を行う。あわせて地域住民への周知を進めるため、こども家庭庁の「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウムを開催し、条例制定の機運を高める。	2,078,000
14 伊賀市	自由枠	放課後児童クラブスタートアップ補助事業	公立放課後児童クラブがない小学校区や待機児童対策として民間事業者が新たにクラブを開設する場合、スタートアップ経費を補助する事業。新設1年目は児童1人当たり月7,000円、2年目は5,000円を支援する。令和8年度は中心市街地で新たに1施設が開所し、利用希望世帯の受け皿となることが期待される。	3,216,000
14 伊賀市	自由枠	人材育成とCLM方式による保育力向上研修事業	三重県立子ども心身発達医療センターへ職員を派遣し、専門的知識を有するアドバイザーやCLMコーチの育成を進める。併せて、保育現場でCLM方式を導入するため、集合研修と巡回研修を実施し、中心人材を育成する。令和8年度は導入園を4園から8園へ拡大する。	363,000
14 伊賀市	自由枠	保育士等就労助成事業	私立保育所、幼稚園、認定こども園に正規職員として新規採用された保育士等に対して助成金（就労奨励：1人当たり最大3年間で30万円、移住支援金：1人当たり10万円）を交付することで、保育士不足の解消を図る事業。令和8年度からは地域型保育事業の従事者も対象とする。	750,000

市町名	申請枠	事業名	事業内容	交付決定額（円）
14 伊賀市	両立支援枠	みんなの”えがおサポーター”雇用促進事業	令和7年度から市立保育所12か所・幼稚園1か所に保育補助員（みんなの“えがおサポーター”）を配置し、屋外保全や園内清掃などを担っている。令和8年度は給食調理員を増員し、主食提供を開始することで、保育士が保育に専念できる体制をさらに強化する。	9,000,000
15 木曾岬町	自由枠	在宅等育児支援事業	在宅で0～2歳児を育てる家庭に対し、在宅育児支援金を支給するとともに一時預かり事業の利用料助成を行う。また、未就学児を育てる家庭に対し、保護者のレスパイト施設等の利用に係る費用に対する助成を行うことにより、子育て家庭の負担を軽減する事業。	3,175,000
15 木曾岬町	自由枠	季節性インフルエンザ予防接種補助事業	1歳児から高校3年生相当（18歳以下）の子どもに対し、「季節性インフルエンザ予防接種」の助成を行うことで、季節性インフルエンザのり患及び重症化の予防を図る事業。受験期の中学3年生および高校3年生年代は無料とする。	900,000
15 木曾岬町	両立支援枠	木曾岬こども園保育環境改善事業	配置基準を超えた保育士の採用に加え、登降園管理や欠席連絡、記録配信等が行える保育支援システムを導入し、保護者と保育士双方の負担を軽減する事業。	2,180,000
16 東員町	自由枠	こどもアドボカシー事業	こどもの声を聴き、こどもが望む相手にその声を届けるサポートをする「子ども意見表明支援員（アドボケイト）」2名を2週間に1回、小中学校に派遣することにより、こどもが意見表明できる機会の確保・支援を行う事業。学校への周知や協力体制の確保も併せて進める。	440,000
16 東員町	自由枠	不妊治療費助成事業	不妊治療に係る自己負担軽減を図るため、保険適用治療や回数超過分、先進医療、PGT-A検査等に対し町独自の助成を行う事業。県補助の対象外や上限超過分を支援し、治療継続を後押しする。令和8年度は医療機関や町公式LINEを通じた周知を強化し、申請漏れの防止と制度の利用促進を図る。	1,700,000
16 東員町	自由枠	思春期保健推進事業	思春期の性や心身の不安に早期に気づき相談につなげる体制を整えるため、保健師が思春期保健相談士として講話や個別相談を行い、園・学校と連携して支援の継続性を高める事業。保健師の専門性向上のため研修を受講し、得た知識を支援内容に反映する。	90,000
17 菰野町	自由枠	一人親家庭の児童の高等学校等通学費援助金支給	一人親家庭の高校生等が公共交通機関で通学する際の負担を軽減するため、通学定期券額の2分の1を助成する事業。令和8年度からはオンライン申請を導入し、定期券や学生証の写し提出を含む手続きをデジタル化し、来庁不要の仕組みを整える。	1,302,000
17 菰野町	両立支援枠	特別支援保育推進事業	私立保育所等への補助と公立園の加配配置を継続しつつ、令和8年度は発達支援の強化のため個別訪問事業を新設する。専門職が児童の状況を観察し必要な支援へつなぐ体制を整えるほか、発達支援アドバイザーを任用し、年間を通じた個別支援を充実させる。	9,000,000
18 朝日町	自由枠	おたふくかぜ任意予防接種費用助成事業	1～5歳未満の子どもに、おたふくかぜ予防接種1回分の費用を助成していた内容を、令和8年度からは1歳～小学校就学前まで対象を広げ、助成回数も2回に拡大する。	300,000
18 朝日町	両立支援枠	保育室増築事業（待機児童解消）	既存保育所に保育室を増築し、待機児童を解消を図る事業。約125㎡の保育室を新設し、安心して利用できる保育環境を確保する。	9,000,000

市町名	申請枠	事業名	事業内容	交付決定額（円）
19 川越町	自由枠	川越町一人親家庭児童高等学校等通学費援助金支給	母子・父子家庭等の児童に対し実施している通学費助成について、上限5,000円/月から5,500円/月へ拡充を行うことで、近鉄の運賃改定等による家計負担を軽減し、進学先の選択肢が狭まらないようにする事業。	998,000
19 川越町	自由枠	放課後子ども教室事業	既存の子どもの居場所に加え、町内の各学校区で放課後子ども教室を開設する事業。年2回の早帰り日に委託業者が勉強・スポーツ・文化活動などを実施し、安全で健やかな育ちにつながる場を提供する。	80,000
19 川越町	両立支援枠	川越町保育士等就労奨励金支給支援事業	私立保育園・認定こども園に勤務する保育士等の就労促進と定着を図るため、一定期間継続勤務した場合に支給する就労奨励金に対する補助を行う事業。従来の1年・3年に加え、5年・7年・10年勤務まで拡充する。	300,000
20 多気町	自由枠	多気町言語活動推進事業	中学2年生の英語授業において、世界各国の同世代生徒と英語でのWEB国際交流を行うことで、外国語を学ぶ意義を感じてもらうとともに、豊かな心を育む事業。令和8年度は自己紹介や地域紹介など自己発信力の強化を図り、効果検証のためアンケートも実施する。	794,000
21 明和町	自由枠	教育支援センター運営事業	不登校児童の居場所づくりを行うため、教育支援センター施設運営を行うとともに、不登校児童生徒が主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう適切な支援や働きかけを行う事業。	662,000
21 明和町	自由枠	中学校部活動引率支援事業	部活動の地域移行を進めるため、外部指導者が大会等の引率を行える体制を整備する事業。これにより、中学校教員の引率業務の負担を軽減し、教員の働き方改革を推進するとともに、地域による持続的な部活動運営を図る。	448,000
21 明和町	両立支援枠	保育士等就労促進支援補助事業	民間保育所等で働く保育士の就労と定着を促進する事業。令和8年4月以降に雇用された保育士へ就労奨励一時金20万円を交付し、3年間勤務した場合は継続奨励一時金10万円を支給する。	1,500,000
22 大台町	自由枠	小中学校熱中症予防事業	各学校の体育館にスポットクーラーを整備し、電源工事を行うことで、子どもたちを熱中症のリスクから守り、安全に学校生活を送れる環境を整える事業。	9,313,000
22 大台町	自由枠	認定こども園・保育園熱中症予防事業	各園に製氷機を整備し、園児が冷水や冷茶を適切に摂取できる体制を整えることで、熱中症のリスクを低減する事業。氷は頭や首を冷やすアイシングバッグや体調不良時の応急対応にも活用する。	1,530,000
22 大台町	自由枠	保育園及び小学校フッ化物洗口事業	保育園で実施してきたフッ化物洗口を、小学校にも拡大して実施する事業。令和7年度に町内4小学校の1年生を対象に開始し、令和8年度は2年生まで対象を広げる。むし歯予防を目的に、フッ化物洗口液や紙コップなどの消耗品を整備し、継続的な口腔衛生の向上を図る。	142,000
22 大台町	両立支援枠	小学校における学習支援員配置	特別な支援が必要な児童を早期に把握し、小学校に学習支援員を配置する事業。授業中の個別支援体制を整えるとともに、令和8年度からは複式学級にも1人配置し、増加が見込まれる学校での支援体制を強化する。	12,000,000

市町名	申請枠	事業名	事業内容	交付決定額（円）
23 玉城町	自由枠	町内保育所への防犯カメラの設置	保護者が安心して児童を預けられる環境を整えるため、町内4保育所の出入口に防犯カメラを設置する事業。不審者の特徴や不意の事故の記録を可能とし、安全確保を強化する。	935,000
23 玉城町	両立支援枠	保育システム用パソコン購入事業	町立保育所で導入している保育システム「H0ICT」を未満児の連絡にも活用するため、保育担当が保育の合間に入力できるノートパソコンを整備する事業。システム入力により紙を廃止し、保護者の連絡負担も軽減する。	2,054,000
24 度会町	自由枠	棚橋保育所における未満児・障がい児等が安心して遊べるインクルーシブ遊具整備事業	3未満児や足の不自由な児童など、従来の遊具が使いにくかった子どもにも配慮し、段差が低く安全性の高い素材を用いたインクルーシブな小型遊具を導入する事業。	393,000
24 度会町	自由枠	小中学生英語力強化推進事業	小中学生の英語力向上に向け、ALTによる英語教室の開講、英検受験料の補助、英語デジタル教材の導入を一体的に進める事業。	275,000
24 度会町	自由枠	中学校特別支援学級教室環境整備事業	特別な支援を要する生徒が周囲の刺激(視線・音・人の動き)を受けにくい環境を整えるため、特別支援学級内に仕切りや畳を用いた落ち着いて過ごせるスペースを確保する事業。	204,000
24 度会町	両立支援枠	放課後児童クラブにおける看護師常駐体制の構築等環境整備事業	放課後児童クラブに看護師を配置し、医療的ケア児や持病のある児童が安心して過ごせる環境を整える事業。緊急時対応や健康管理を強化するとともに、収納棚の整備で園内の事故防止と受入体制の強化を図る。	2,334,000
24 度会町	両立支援枠	保育所ICT基盤整備による保育業務DX推進事業	町立保育所に保育業務で使用するパソコン端末を整備する事業。各クラスと事務室に専用端末を配置し、園だよりや記録作成の効率化、関係機関とのデータ連携を円滑にすることで、保育の質と事務の生産性を高める。	1,144,000
25 大紀町	自由枠	保育力等向上及び保育環境改善事業	幼児期の育ちを踏まえた「子ども主体の保育」を推進するため、アドバイザーによる年間研修を継続し、保育の振り返りや園内研修を通じて保育士の専門性を高める事業。令和8年度は小学校1年生の授業参観を通じた連携強化に加え、子どもが遊び込める環境づくりのため園庭改修も実施する。	7,695,000
25 大紀町	自由枠	自然体験等子ども・子育て応援事業	農林漁業の後継者や移住者、地域おこし協力隊など地域の多様な人材が、小中学生に自然を生かした体験活動を提供し、家庭や学校では得られない学びを育む事業。令和8年度は新たにウミガメの生態学習を加え、より広がりのある体験を実施する。	1,533,000
26 南伊勢町	自由枠	就学児英語力・体力向上事業	幼児教育の質向上に向け、様々な経験を通して幼児期における学びの芽生えと生きる力を育む質の高い新たな幼児教育に取り組む。令和8年度は英語教室を保育活動へ組み込み、体育教室は副担任が日常の遊びの中で指導する形に見直し、子ども主体の保育の深化とノウハウの共有を図る。	2,693,000
26 南伊勢町	両立支援枠	保育士確保・処遇改善事業	保育士不足と業務逼迫が生じている、0・1歳児クラスに令和8年度から保育補助職員を配置し、ゆとりある保育体制を整えることで保育士の離職を防ぎ、安心して子育てと仕事を両立できる環境づくりを図る事業。	5,824,000

市町名	申請枠	事業名	事業内容	交付決定額（円）
26 南伊勢町	両立支援枠	心身障害児等移送サービス事業	町内で特別支援学校への通学手段に限られる中、町外通学児童の送迎を継続的に支援している。令和7年度には長期休暇中の放課後等デイサービスへの送迎を拡大し、令和8年度からは平日の通所支援も強化することで、障がい児の進路選択の幅を広げるとともに、保護者の就労と子育ての両立を支える。	4,250,000
27 紀北町	自由枠	赤羽中学校「食育環境」整備事業	全校生徒13名の赤羽中学校で、故障したランチルームの空調設備を更新し、年間を通じて快適で安全な食育・交流環境を整える事業。給食保管の衛生確保に加え、異学年交流や地域との学びの場としての機能を高め、少人数校ならではの豊かな学びと成長を支える。	2,610,000
27 紀北町	自由枠	赤羽中学校「保健室」整備事業	生徒の体調不良や心のケアを支える場である保健室の環境を整えるため、老朽化し故障した空調設備を静音性や微風調整に優れた機器へ更新する事業。	1,067,000
27 紀北町	自由枠	紀伊長島幼稚園「保健室」整備事業	紀伊長島幼稚園の保健室に、故障した空調設備を幼児に配慮した微風調整機能や静音性を備えた機種へ更新し、体調不良の子どもが安心して休息できる環境を整える事業。	1,070,000
27 紀北町	自由枠	西小学校「校内支援教室」整備事業	発達に不安のある児童と家族を支えるため、児童発達支援・放課後等デイサービスの自己負担を補助し、経済的理由による利用控えを防ぐ取組を継続する。令和8年度は、診断未取得の幼児を対象に、専門員による個別・集団療育を行う町独自の早期支援を新たに実施し、支援の空白を生まない体制を整える。	1,496,000
27 紀北町	自由枠	発達の気になる子どもの療育支援事業～健診から療育まで途切れのない伴走支援～	令和7年度に開設する児童発達支援や放課後等デイサービス事業を行う施設の利用料を補助することで、障がいのある児童が施設へ通所しやすい環境をつくとともに、早期療育や療育の継続等を支援する事業。	1,371,000
27 紀北町	自由枠	新小学1年生児童安全確保・交通安全意識啓発事業	小学1年生に大手メーカー製の自転車用ヘルメットを給付し、安全な登下校と日常の自転車利用を支える事業。成長に伴うサイズ変化や安全性能の確認のため定期アンケートを実施し、必要に応じて更新を行う。	343,000
27 紀北町	自由枠	親子のファーストブック事業	母子健康手帳交付時に、妊婦へ保護者向け啓発絵本と胎児・乳児向け絵本を贈呈し、胎動期からの読み聞かせを促す事業。	112,000
28 御浜町	自由枠	不妊治療及び妊婦健診・分娩施設への交通費等支援事業	不妊治療にかかる自己負担分を助成するとともに、妊婦健診にかかる通院費（交通費）を助成し、やむを得ず遠方の医療機関を受診する必要がある妊婦の経済的負担を軽減する事業。令和8年度からは分娩施設への交通費・宿泊費の自己負担分も支援する。	2,300,000
28 御浜町	自由枠	準要保護児童生徒援助費事業	経済的な理由により就学困難な児童生徒（準要保護児童生徒）の保護者に対し、給食費や学用品費、修学旅行費やクラブ活動費等の一部を支給することで、生活困窮家庭等の経済的負担を軽減する事業。令和8年度は学校生活管理指導票（アレルギー疾患用）文書料を新たに助成対象に加える。	4,867,000
28 御浜町	両立支援枠	御浜町保育料無償化事業	国の保育料無償化に加え、町独自で0～2歳児の保育料を全世帯対象に無償化する事業。さらに、保護者の就労や通勤事情により定期的な延長保育が必要な児童についても延長保育料を無償化する。	7,487,000

市町名	申請枠	事業名	事業内容	交付決定額（円）
28 御浜町	両立支援枠	放課後児童健全育成事業利用者負担軽減事業	町内の放課後児童クラブ2施設が令和8年度から利用料を値上げすることを受け、子育て世帯の負担増を抑えるため、値上げ分を保護者へ間接補助を行う事業。	4,513,000
29 紀宝町	自由枠	小中学校教材費補助金	町内在住の児童生徒の保護者負担を軽減するため、小中学校の学年に応じて教材費の一部を補助する事業。小学生・中学1～2年生に11,000円、中学3年生に17,000円を支給し、町内外の在籍者を対象とする。	5,220,000
29 紀宝町	自由枠	幼小ICT機器導入事業	鶴殿小学校と鶴殿幼稚園に電子黒板を整備し、学びの質を向上させる事業。小学校では少人数学習での効果的な指導を支え、幼稚園では思考の可視化や意見共有を促し、対話的な学びを実現する。	631,000
29 紀宝町	自由枠	子育てガイドブックにおける子育てロードマップの掲載について	妊娠期から就業までの支援が複数部署に分散しており、必要な情報が分かりにくい現状を踏まえ、町として支援内容を整理し一元的に示す仕組みを整える事業。まとめたものを子育てハンドブックにも掲載する。	359,000
29 紀宝町	両立支援枠	保育所等通所交通費助成	休所する相野谷保育所の児童や相野谷地区の未入所児が町内の別保育所へ通う際、遠距離通所による保護者負担を軽減する事業。対象は1～5歳児の保護者とし、通所にかかる経費として月額3,000円を助成することで、休所による影響を最小限に抑え、安定した保育利用を支援する。	288,000